

【地域・保護者の実態】

- ・自然に恵まれている。
- ・園と地域の結びつきが強く、行事への参加にも非常に協力的である。
- ・新興住宅化が進んでおり、核家族が多い。
- ・少子化に伴い、子どもへの期待が強まる傾向にある。

【教育課題】

- ・興味を持ったことに関わり、夢中になって遊ぶ子の育成。
- ・自分の思いや考えたことを伸び伸びと表現できる子の育成。
- ・様々なことに挑戦する気持ちや、自分の力を発揮する意欲を高めることのできる園生活の工夫。
- ・地域の環境や人材を活かし、地域との連携を充実させる園経営。

【園児の実態】

- ・穏やかで優しい幼児が多い。
- ・人との関わりを素直に喜ぶことができる幼児が多い。
- ・集団の場では、苦手な事や困難を避け、自己発揮できない幼児も多い。
- ・自分の思いを言葉で表現できるが、自信をもって主張できない姿もある。

【園目標】 元気な子 優しい子 頑張る子

【研修のテーマ】

『やってみよう！考えてみよう！伝えてみよう！とする幼児の育成』

【主題設定の理由】

前年度までの本園の園児は、自分の思いを發揮して遊びを楽しむ姿が多く見られた。しかし、友達関係や遊びの偏り、失敗をして諦めてしまう姿、競争心の低さ等が課題として残った。その要因としては、小規模園であることから人間関係や遊びが画一化やすく、新しいことへの挑戦や苦手なことを意識してしまう傾向が強かったことが挙げられる。

そこで、園目標「元気な子 優しい子 頑張る子」の「頑張る子」に着目し、心情面で頑張る姿を目指していく。また、袋井あやぐも学園 学園目標「夢を追い続ける子供の育成」など一貫教育を意識する中で「ボイスシャワー」について研究、考察をし、教師の幼児を捉える力を豊かにすることで、小学校へ進学後も力を発揮できる強さをもった幼児に育てていく。

【具体的な取り組み】

遊び・活動

- ・プロジェクト保育（様々な遊びを知る）
- ・リズム運動（時期に応じて全学年合同実施）
- ・話し合いの活用
- ・異年齢交流（遊びを通して）
- ・身近な地域交流
- ・基本的生活習慣の確立

教師の配慮

- ・ボイスシャワー
- ・十分な時間と場の確保
- ・異年齢児との関わりを意識した広い視野
- ・翌日に繋がる振り返り
- ・行事、生活の見直し（ゆとりある生活時間の確保）
- ・興味を引き出す環境づくりの工夫
- ・幼児の思いを見える化（ドキュメンテーション）

一人一人の育ちや興味を支えるために

保護者との連携

- ・対話の充実
- ・ドキュメンテーション
- ・キラキラタイム
- ・子育て支援
家庭での温もりづくり
ボイスシャワー

職員間の連携

- ・対話の充実
- ・振り返り研修
（個の興味・成長を見取り、共有する）
- ・記録の工夫、共有
（妥当性・信頼性を高める）

専門機関との連携

- ・支援方法についての相談
- ・公開保育
- ・幼小中一貫教育
（袋井あやぐも学園）